平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名　株式会社 アドバネクス　　上場取引所　東
コード番号　5998　URL　http://www.advanex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 加藤　雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長　(氏名) 大野　俊也　TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,554	△8.1	321	△35.8	323	17.3	331	339.6
24年3月期第3四半期	19,104	△19.8	501	24.5	276	88.5	75	△8.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　664百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△357百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.00	―
24年3月期第3四半期	1.89	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	18,293	3,434	18.7	82.37
24年3月期	18,416	2,967	15.0	66.37

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　3,417百万円　24年3月期　2,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	―	―
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	△9.1	300	△51.1	280	△40.5	250	10.4	6.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	41,533,708 株	24年3月期	41,533,708 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	39,835 株	24年3月期	22,946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	41,501,481 株	24年3月期3Q	40,050,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（６）重要な後発事象 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の日本経済は、年度前半は東日本大震災の復興需要等により内需が堅調に推移しましたが、年度後半に入ると欧州や新興国を中心とする世界経済の減速や日中関係悪化の影響から、景気は徐々に後退していきました。こうした中で、当社が関連する事業分野では、自動車業界はエコカー補助金の終了に伴う国内販売の減少や中国における販売減少等の影響がありましたが、北米や東南アジアにおいて需要は堅調でした。一方、ＯＡ機器市場は欧州や中国での景気の冷え込みから需要が減少しました。当社におきましては、精密ばね事業とプラスチック事業において、前年同四半期に比べＯＡ機器向けやＰＣ関連向けの売上が大きく減少しました。また、ヒンジ事業の縮小に伴い、同事業の売上高は前年同四半期に比べ減少したものの損失額は大幅に減少しました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比8.1％減の175億54百万円、営業利益は、前年同四半期比35.8％減の３億21百万円となりました。経常利益は、為替差益の発生により前年同四半期比17.3％増の３億23百万円となり、四半期純利益は、洪水被害を受けたタイ工場における保険金収入による特別利益の計上等から、前年同四半期比339.6％増の３億31百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

［精密ばね事業］

国内では、自動車向けの売上高は増加したものの、ＯＡ機器向けやＰＣ関連向けの収益性の高い商品の売上高が大きく減少しました。また海外では、タイの売上高が洪水被害のあった前年同四半期に比べ回復しましたが、中国におけるＯＡ機器向けの販売減少等からアジアの売上高が伸び悩みました。これらの結果、売上高は前年同四半期比3.5％減の96億41百万円となり、セグメント利益は同66.8％減の２億29百万円となりました。

［プラスチック事業］

自動車向けの売上高が国内外で増加したものの、国内でＯＡ機器向け等の売上高が減少しました。また、国内及び中国において賞与や賃上げ等に伴い人件費が増加したため、収益も減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比1.4％減の75億１百万円となり、セグメント利益は同45.8％減の１億19百万円となりました。

［ヒンジ事業］

ヒンジユニット販売は、携帯電話向け事業の縮小とＰＣ向け事業の売却に伴い売上高は減少したものの、製品価格の値上げや人件費等の固定費削減を進めた結果、損失額が大幅に減少しました。売上高は前年同四半期比72.8％減の４億10百万円となり、セグメント損失は33百万円（前年同四半期は４億26百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間の総資産額は、182億93百万円となり前連結会計年度末に比べ１億22百万円減少しました。

資産の部においては、現金及び預金が１億70百万円増加しましたが、売上高減少により、受取手形及び売掛金が６億69百万円減少、流動資産合計は４億77百万円減少しました。また、タイの設備投資により、有形固定資産が３億54百万円増加、無形固定資産が10百万円減少、投資その他の資産が10百万円増加したことにより、固定資産合計は３億54百万円増加しました。

負債の部においては、負債合計額は148億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億89百万円減少しました。主な内容は、支払手形及び買掛金が５億１百万円減少、短期借入金が２億53百万円減少したこと等により、流動負債合計が７億37百万円減少しましたが、長期借入金や退職給付引当金の増加により、固定負債合計が１億47百万円増加したことによるものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が34億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて４億66百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益を３億31百万円計上したことや、円高の影響により為替換算調整勘定のマイナス残高が３億23百万円減少したこと、M.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA)SDN.BHD.の株式を追加取得したことから、少数株主持分が１億95百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月９日に公表しました予想数値を修正しております。詳細は、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677,452	2,847,743
受取手形及び売掛金	5,430,587	4,760,631
商品及び製品	735,737	906,410
仕掛品	563,056	583,796
原材料及び貯蔵品	1,004,397	948,883
繰延税金資産	103	145
その他	472,889	331,448
貸倒引当金	△51,875	△23,895
流動資産合計	10,832,349	10,355,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,647,761	1,584,737
機械装置及び運搬具（純額）	2,040,649	2,125,368
土地	2,157,700	2,174,962
その他（純額）	541,058	856,486
有形固定資産合計	6,387,169	6,741,553
無形固定資産	193,114	182,838
投資その他の資産	1,004,134	1,014,419
固定資産合計	7,584,418	7,938,812
資産合計	18,416,767	18,293,976
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,892,379	3,391,317
短期借入金	4,859,002	4,605,686
1年内返済予定の長期借入金	1,466,081	1,485,256
未払法人税等	140,535	166,968
賞与引当金	137,395	53,465
その他	965,667	1,020,893
流動負債合計	11,461,060	10,723,588
固定負債		
長期借入金	1,744,864	1,778,711
繰延税金負債	308,356	323,625
退職給付引当金	1,491,161	1,603,607
環境対策引当金	7,106	4,391
資産除去債務	38,234	38,395
その他	398,490	387,191
固定負債合計	3,988,212	4,135,922
負債合計	15,449,273	14,859,510

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,610	1,000,000
資本剰余金	2,551,467	256,249
利益剰余金	△1,541,812	3,536,460
自己株式	△3,525	△4,432
株主資本合計	4,457,740	4,788,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,580	4,428
為替換算調整勘定	△1,698,141	△1,374,879
その他の包括利益累計額合計	△1,702,722	△1,370,451
新株予約権	16,640	16,640
少数株主持分	195,836	－
純資産合計	2,967,494	3,434,465
負債純資産合計	18,416,767	18,293,976

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	19,104,908	17,554,035
売上原価	15,031,667	13,949,437
売上総利益	4,073,241	3,604,597
販売費及び一般管理費	3,571,772	3,282,640
営業利益	501,468	321,957
営業外収益		
受取利息	5,877	9,730
受取賃貸料	65,387	69,407
為替差益	－	82,086
持分法による投資利益	13,606	15,264
その他	116,377	75,716
営業外収益合計	201,248	252,206
営業外費用		
支払利息	192,070	180,262
為替差損	164,489	－
その他	70,019	70,097
営業外費用合計	426,579	250,359
経常利益	276,137	323,803
特別利益		
固定資産売却益	2,089	8,952
子会社清算益	15,406	－
退職給付引当金戻入額	72,285	－
受取保険金	－	168,350
負ののれん発生益	－	5,627
その他	8,197	1,039
特別利益合計	97,979	183,969
特別損失		
固定資産売却損	－	914
固定資産処分損	3,288	354
投資有価証券評価損	8,243	17,188
減損損失	112,481	45,898
持分変動損失	85,375	－
訴訟関連損失	32,321	－
その他	291	－
特別損失合計	242,000	64,355
税金等調整前四半期純利益	132,116	443,418
法人税、住民税及び事業税	85,772	107,286
法人税等調整額	△17,958	4,220
法人税等合計	67,814	111,507
少数株主損益調整前四半期純利益	64,302	331,911
少数株主損失（△）	△11,208	－
四半期純利益	75,510	331,911

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	64,302	331,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,277	8,641
為替換算調整勘定	△403,670	323,262
持分法適用会社に対する持分相当額	△270	367
その他の包括利益合計	△422,217	332,270
四半期包括利益	△357,915	664,181
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△324,502	664,181
少数株主に係る四半期包括利益	△33,413	－

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,988,767	7,606,439	1,509,702	19,104,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	98,668	1,183	―	99,852
計	10,087,436	7,607,622	1,509,702	19,204,760
セグメント利益又はセグメント損失（△）	690,163	220,148	△426,270	484,041

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

当社の連結子会社であるフジマイクロ株式会社は、平成23年４月28日に自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、第１四半期連結累計期間より、持分法適用関連会社になりました。

この影響により、モーター事業の資産の額が1,988,356千円減少しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	484,041
セグメント間取引消去	17,270
その他の調整額	156
四半期連結損益計算書の営業利益	501,468

４．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結累計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業、モーター事業、ヒンジ事業で記載しておりましたが、主として、モーター事業を行っていた当社の子会社フジマイクロ株式会社が、平成23年４月28日に、自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、持分法適用関連会社になりました。その結果、第１四半期連結累計期間において、連結子会社でありましたフジマイクロ株式会社を連結の範囲から除外したことに伴いモーター事業区分を廃止いたしました。

５．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
減損損失	―	―	112,481	112,481

（注）減損損失は、ストロベリーコーポレーションとの株式交換により発生したのれんによるものです。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,641,263	7,501,903	410,869	17,554,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,957	10,111	―	79,069
計	9,710,220	7,512,015	410,869	17,633,105
セグメント利益又はセグメント損失（△）	229,469	119,317	△33,975	314,811

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	314,811
セグメント間取引消去	7,146
四半期連結損益計算書の営業利益	321,957

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ヒンジ事業」セグメントにおいて、売却予定の資産の帳簿価額を売却予定価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては45,898千円であります。

（重要な負ののれん発生益）

「プラスチック事業」セグメントにおいて、当社連結子会社であるM.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA) SDN.BHD.の株式の追加取得を行い、完全子会社化したことにより負ののれん発生益が生じております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第３四半期連結累計期間においては5,627千円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年６月21日開催の定時株主総会決議により、平成24年７月31日付で会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が2,451,610千円、資本準備金が612,902千円減少し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が1,000,000千円となっております。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。